マイク・ニコルズ

Mike Nichols

生年月日 1931/11/06
出身地 ドイツ／ベルリン
没年 2014/11/19

【バイオグラフィ】
■本名はMichael Igor Peschkowsky。シカゴ医大を中退後、俳優としてオフ・ブロードウェイやテレビに出演。やがて演出を担当するようになり、1963年の“裸足で散歩”のブロードウェイ公演からさまざまな賞を受賞、舞台演出の巨匠となる。映画監督デビューは、６６年の「バージニア・ウルフなんかこわくない」で、翌年の「卒業」でアカデミー監督賞を受賞した。その後は「キャッチ２２」、「イルカの日」、「ワーキング・ガール」など多彩なジャンルに挑戦しているが、娯楽作でありながら社会風刺をきかせる演出が特徴である。３度の離婚後（二男一女あり）、８８年にニュース・キャスターと再婚。2014年11月、心不全のため83歳で死去した。

【フィルモグラフィ】

チャーリー・ウィルソンズ・ウォー（2007）	監督
クローサー（2004）	監督,製作
エンジェルス・イン・アメリカ（2003）	監督,製作総指揮
エマ・トンプソンのウィット／命の詩（2001）	監督,製作総指揮,脚本
２９９９年異性への旅（2000）	監督,製作
パーフェクト・カップル（1998）	監督,製作
バードケージ（1996）	監督,製作
ウルフ（1994）	監督
日の名残り（1993）	製作
心の旅（1991）	監督,製作
ハリウッドにくちづけ（1990）	監督,製作
ワーキング・ガール（1988）	監督
ブルースが聞こえる（1988）	監督
心みだれて（1986）	監督,製作
ギャンブル・ブラザース／穴馬勝負（1985）	製作総指揮
シルクウッド（1983）	監督,製作
おかしなレディ・キラー（1975）	監督,製作
イルカの日（1973）	監督
愛の狩人（1971）	監督,製作
キャッチ２２（1970）	監督
卒業（1967）	監督
バージニア・ウルフなんかこわくない（1966）	監督

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.